

# 政府のCOVID-19対策に対する 首都圏住民の評価

谷口 綾子<sup>1</sup>・石橋 拓海<sup>2</sup>

<sup>1</sup>正会員 筑波大学教授 システム情報系 (〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1)  
E-mail: taniguchi@risk.tsukuba.ac.jp

<sup>2</sup>非会員 筑波大学大学院 システム情報工学研究群 (〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1)  
E-mail: s2020522@s.tsukuba.ac.jp (Corresponding Author)

COVID-19 感染症対策として、これまで政府による様々な対策が実施されてきた。本研究では、2021 年 7 月現在までの代表的な施策として、入国規制、学校の一斉休校、緊急事態宣言、1 世帯 2 枚のマスク配布、持続化給付金、特別定額給付金、接触確認アプリ、GOTO 事業を選定し、これらに関する首都圏住民 (n=425) の評価を「満足度」「適切性(手ぬるい、適切、度が過ぎている)」という二つの指標を用いて計測した。その結果、各政策に対する人々の評価は、不満で手ぬるいとの評価と、満足度はどちらでもなく適切であるとの評価とに大きく二分されることが示された。初動の失敗とされる入国規制や、アメとムチの「アメ」であるにも関わらず、政策決定から実際に人々の手に渡るまでに時間を要し時宜を逸したアベノマスクなどにきびしい評価が下された。一方で「アメ」の最たるもの、ばらまきとも分類される特別定額給付金は適切であると評価されており、度が過ぎているとの評価はごくわずかであった。

**Key Words:** COVID-19, policy evaluation, anxiety, risk perception, panel survey

## 1. 背景・目的

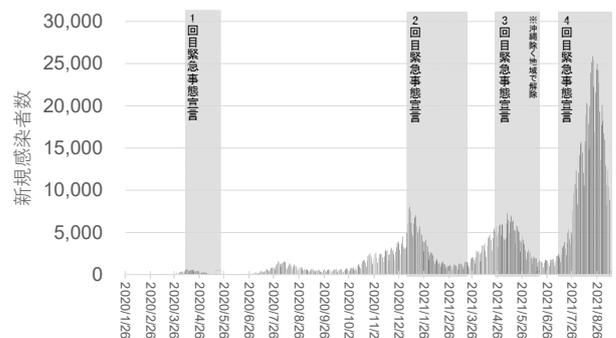
新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の世界的な蔓延により我が国でも多数の感染者が確認されている（図-1）<sup>1)</sup>。この対応として、感染防止と経済活動の維持という葛藤の中で、政府により様々な政策が進められた（主なものは表-1）<sup>2)</sup>。これらの政策が科学的に有効であったか否かは本稿執筆時の2021年9月末時点では明らかでは無い。が、その是非に関して、マスコミ報道等ではむしろ否定的な意見が報道されていたようにも思われる<sup>2)</sup>。政府当局は、種々の検討を重ね対策を吟味し、政策が課題解決につながると踏んで実施しており、当然ながらそれらがその時点で最良の策であると想定していたと考えられる。政策の有効性評価はその渦中では難しいことも多く、評価が時代を経て変化する例もあり、一義的に決めることは困難である。政策評価は歴史が、後世が評価するものなのかもしれない。

先に述べたように、政府の政策に対して懐疑的な意見も多々表明されている。政府による様々なCOVID-19対策への評価は、端的にまとめると、手ぬるい、妥当である、度が過ぎている、の三つに分類できよう。これらの評価の要因は、どのような個人属性、心的傾向に起因するのだろうか。

本稿では、新聞記事分析より得られた日本国政府

による主な COVID-19 対策について、関東圏在住の市民に評価を依頼したデータを分析することを通じて、人々がそれぞれの政策をどのように評価したのかを明らかにすることを試みる。これにより 2021 年 7 月時点での政策に対する「空気」の一端を定量的に示すことを本研究の目的とする。

なお、COVID-19 関連対策は、都道府県知事にも大きな権限があり、その手腕が注目された。が、知事が政府に対応を要求する姿も報道されており、政府が大きな方針を固め、それに則って地域の実情に合わせた施策を知事が進めるという指示系統は当然ながら堅持されている。よって本研究では政府の政策のみに着目することとした。



厚生労働省オープンデータ: <https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html> をもとに作成

図-1 日本における新規感染者数の推移<sup>1)</sup>

## 2. 調査概要

本研究では、政府のCOVID-19政策に対する評価を把握するため、関東（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県）を対象としたWeb調査を実施した。この調査は、2020年4月～2021年7月の期間に5回実施したパネル調査の5回目、2021年に7月に実施したもので425名の回答を得ることができた<sup>3)</sup>。なお、第1回目のみ性別と年代で均等割り付けしたが、第5回では20-30代の回答者が相対的に少なくなっている(表-1)。

政府の主な政策としては、文献2)の新聞分析を参考に表-2に示す13政策を選定した。これらの政策への評価は、満足度と適切性の二つの尺度を用いて回答を要請し測定した。具体的尺度として、満足度は「政府のCOVID-19感染症の各対策にどの程度満足していますか(全く満足していない:1,非常に満足している:7)」,適切性は「政府のCOVID-19感染症の各対策は、どの程度適切であったと思いますか(かなり手ぬるい:1,適切である:4,かなり度が過ぎている:7,わからない:8)」を用いた。適切性はカテゴリ変数である。

その他、個人属性として性別年代、世帯構成、世帯年収、職業、心理尺度として、COVID-19へのリスク認知(恐ろしさ、未知性、制御可能性)、人/機関への信頼、主観的幸福感、ワクチン接種行動意図、主観的「自粛疲れ」、不安、等を測定した。尺度の詳細は文献2)～3)を参照いただきたい。なお、分析には、IBM SPSS Statistics 26を用いた。

## 3. 分析結果

### (1) 満足度と適切性のクロス集計

図-2、図-3に表-3に述べた政府の各政策に対する満足度と適切性の評価を、表側に満足度、表頭に適切性としてクロス集計した結果を示す。各セルのパーセンテージは表全体(n=425)を100としたときの割合となっている。セルの色が濃いほど、そのセルに該当する人が多いことを意味している。

図-2、図-3より、全体として左上と中央のセルの選択割合が高いことがわかる。左上は「その政策に全く満足しておらず、手ぬるい」という評価、中央は「その政策への満足度はどちらとも言えないが、適切である」という評価を意味している。人々の評価は概ね二分しているようである。また、「満足度はどちらとも言えず、適切性もわからない」右中央を選択した人が4%～8%弱存在していた。これは政策が自分事では無いため興味が無い可能性が考えられる。

最も不満足で手ぬるいと評価されたのはA)入国規制(35.1%)であった。2020年11月頃に新型のコロナウイルスが発見され、中国で多数の感染者が報告さ

表-1 政府による主な COVID-19 政策

NO.	施行日	首都圏に関連する主な対策
1	2020/2/1	海外からの入国規制に関する対策
2	2020/2/18	在宅での勤務も可能となるテレワークの推進
3	2020/2/26	政府による大型イベント開催中止・延期の呼びかけ
4	2020/3/2	学校の一斉休校
5	2020/3/26	首都圏5都県共同で不要不急の外出自粛要請
6	2020/4/1	全国で5,000万余りの世帯全てを対象に一住所あたり2枚ずつ配布することを決定
7	2020/4/7	1回目緊急事態宣言を埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県に発令
8	2020/4/7	「持続化給付金」制度の導入
9	2020/4/16	1回目緊急事態宣言の対象地域の全国への変更
10	2020/4/27	特別定額給付金10万円の配布開始
11	2020/5/4	緊急事態宣言の期間延長
12	2020/5/14~25	1回目緊急事態宣言の解除
13	2020/6/19	接触確認アプリ(COCA)の導入
14	2020/7/22	GoTo イベント事業
15	2021/1/8	2回目緊急事態宣言を埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県に発令
16	2021/3/21	2回目緊急事態宣言の解除
		医療従事者へのワクチン接種本格化
17	2021/4/25	3回目緊急事態宣言を東京都、京都府、大阪府及び兵庫県に発令
		高齢者へのワクチン接種本格化
18	2021/6/20	3回目緊急事態宣言の解除
		ワクチンの職域接種・自治体接種本格化
19	2021/7/12	4回目緊急事態宣言を東京都に発令 ~9/30まで
20	2021/8/2	4回目緊急事態宣言を埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府に発令
21	2021/8/20	4回目緊急事態宣言を茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、京都府、兵庫県、福岡県に拡大 ~9/30まで

表-2 アンケート調査概要

項目	1回目(t1)		5回目(t5)	
	開始 2020/4/7	終了 2020/4/11	開始 2021/7/2	終了 2021/7/9
調査時期				
サンプル数	800名		425名	
	男性 400名	女性 400名	男性 231名	女性 194名
年齢	20代: 160名 30代: 160名 40代: 160名 50代: 160名 60代以上:160名	20代: 32名 30代: 78名 40代: 103名 50代: 106名 60代以上:106名		
都道府県	東京都: 177名 神奈川県: 100名 千葉県: 70名 埼玉県: 53名 栃木県: 120名 群馬県: 123名 茨城県: 157名	東京都: 86名 神奈川県: 60名 千葉県: 36名 埼玉県: 23名 栃木県: 62名 群馬県: 64名 茨城県: 94名		

表-3 本研究で対象とした政府の主な COVID-19 対応政策

- A) 入国規制に関する対策
- B) 政府による在宅勤務およびテレワークの推進
- C) 政府による大型イベント開催中止・延期の呼びかけ
- D) 政府による学校の一斉休校の要請
- E) オリンピック・パラリンピック競技大会の延期
- F) 全世帯を対象に一住所あたり2枚ずつのマスクの配布
- G) 新型コロナウイルスに関する1回目の緊急事態宣言
- H) 新型コロナウイルスに関する2回目の緊急事態宣言
- I) 新型コロナウイルスに関する3回目の緊急事態宣言
- J) 持続化給付金制度の導入(中小法人・個人事業主支援)
- K) 特別定額給付金(1人10万円)の配布
- L) 接触確認アプリ(COCA)の導入
- M) GoTo イベント事業

		適切性_入国規制に関する対策								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「入国規制に関する対策」	全く満足していない	35.1%	0.9%	0.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	161
	←	6.1%	8.0%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	67
	←	1.6%	3.5%	5.6%	1.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	57
	どちらともいえない	2.4%	1.9%	4.5%	11.5%	1.9%	0.0%	0.0%	4.5%	113
	→	0.0%	0.5%	1.2%	2.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	21
	→	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
合計		192	63	56	77	14	1	1	21	425

A) 入国規制に関する対策

		適切性_政府による在宅勤務およびテレワークの推進								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「政府による在宅勤務およびテレワークの推進」	全く満足していない	15.5%	0.7%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.7%	0.0%	75
	←	4.7%	4.9%	1.9%	1.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	55
	←	0.9%	2.6%	6.6%	2.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	56
	どちらともいえない	1.6%	2.6%	6.8%	19.8%	1.4%	0.5%	0.0%	5.6%	163
	→	0.2%	1.2%	1.9%	6.4%	2.6%	0.2%	0.0%	0.5%	55
	→	0.5%	0.0%	0.2%	2.6%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	18
	非常に満足している	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
合計		101	51	75	140	22	6	3	27	425

B) 政府による在宅勤務およびテレワークの推進

		適切性_政府による大型イベント開催中止・延期の呼びかけ								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「政府による大型イベント開催中止・延期の呼びかけ」	全く満足していない	17.4%	1.4%	0.7%	0.5%	0.2%	0.0%	1.4%	0.7%	95
	←	1.9%	3.3%	3.3%	1.9%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	50
	←	0.5%	1.9%	6.8%	2.8%	1.4%	0.5%	0.0%	0.2%	60
	どちらともいえない	1.4%	1.6%	5.6%	17.2%	2.4%	0.2%	0.0%	4.2%	139
	→	0.9%	0.2%	2.8%	7.1%	2.4%	0.2%	0.0%	0.5%	60
	→	0.5%	0.0%	0.2%	2.4%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	16
	非常に満足している	0.0%	0.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
合計		96	37	83	139	33	6	7	24	425

C) 政府による大型イベント開催中止・延期の呼びかけ

		適切性_政府による学校の一斉休校の要請								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「政府による学校の一斉休校の要請」	全く満足していない	10.4%	0.7%	0.5%	0.7%	0.5%	1.2%	2.1%	0.2%	69
	←	1.2%	1.9%	2.1%	1.4%	1.2%	0.9%	1.4%	0.0%	43
	←	0.5%	0.9%	2.6%	3.5%	2.1%	0.7%	0.7%	0.0%	47
	どちらともいえない	1.4%	2.4%	4.7%	23.3%	3.5%	0.5%	1.2%	7.8%	190
	→	0.7%	0.2%	1.9%	6.6%	2.1%	0.5%	0.0%	0.2%	52
	→	0.5%	0.0%	0.2%	2.4%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	17
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7
合計		62	26	51	168	42	18	23	35	425

D) 政府による学校の一斉休校の要請

		適切性_オリンピック・パラリンピック競技大会の延期								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「オリンピック・パラリンピック競技大会の延期」	全く満足していない	17.4%	1.6%	0.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	89
	←	1.4%	4.0%	1.4%	1.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	37
	←	0.5%	0.5%	2.1%	0.9%	1.2%	0.2%	0.0%	0.0%	23
	どちらともいえない	2.6%	2.1%	3.8%	20.0%	1.6%	0.0%	0.2%	4.9%	150
	→	1.4%	0.7%	2.1%	8.9%	2.6%	0.5%	0.0%	0.0%	69
	→	0.5%	0.7%	0.7%	7.5%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	43
	非常に満足している	0.5%	0.2%	0.5%	1.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	14
合計		103	42	46	175	27	4	4	24	425

E) オリンピック・パラリンピック競技大会の延期

		適切性_全世界を対象に一住所あたり2枚ずつのマスクの配布								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「全世界を対象に一住所あたり2枚ずつのマスクの配布」	全く満足していない	28.5%	5.2%	0.9%	0.9%	0.5%	1.2%	8.9%	3.1%	209
	←	0.9%	1.2%	2.4%	0.9%	1.6%	0.7%	0.9%	0.9%	41
	←	0.2%	1.2%	4.2%	1.2%	1.4%	0.2%	0.0%	0.9%	40
	どちらともいえない	2.6%	1.4%	3.1%	11.8%	2.1%	0.5%	0.2%	4.0%	109
	→	0.2%	0.5%	0.5%	1.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.2%	18
	→	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	非常に満足している	0.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
合計		140	40	47	76	29	11	43	39	425

F) 全世界を対象に一住所あたり2枚ずつのマスクの配布

		適切性_新型コロナウイルスに関する1回目の緊急事態宣言								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「新型コロナウイルスに関する1回目の緊急事態宣言」	全く満足していない	14.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.9%	0.2%	73
	←	1.4%	2.4%	1.4%	1.2%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	29
	←	0.7%	2.1%	2.8%	2.1%	0.9%	0.2%	0.0%	0.0%	38
	どちらともいえない	2.6%	0.7%	8.2%	19.8%	2.1%	0.5%	0.0%	4.9%	165
	→	0.5%	0.0%	2.1%	10.4%	3.8%	0.2%	0.0%	0.0%	72
	→	0.2%	0.2%	0.7%	5.6%	0.7%	0.5%	0.2%	0.0%	35
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	13
合計		84	29	65	178	33	9	5	22	425

G) 1回目の緊急事態宣言

		適切性_新型コロナウイルスに関する2回目の緊急事態宣言								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「新型コロナウイルスに関する2回目の緊急事態宣言」	全く満足していない	16.2%	2.1%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	1.2%	0.2%	87
	←	1.9%	4.2%	1.4%	0.9%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	40
	←	0.7%	1.9%	5.4%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	42
	どちらともいえない	2.4%	2.6%	8.2%	18.6%	2.4%	0.0%	0.0%	4.9%	166
	→	0.0%	0.5%	3.3%	8.0%	2.1%	0.2%	0.0%	0.0%	60
	→	0.2%	0.5%	0.5%	4.2%	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	26
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4
合計		91	50	81	144	25	5	5	24	425

H) 2回目の緊急事態宣言

		適切性_新型コロナウイルスに関する3回目の緊急事態宣言								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「新型コロナウイルスに関する3回目の緊急事態宣言」	全く満足していない	17.9%	2.4%	0.5%	0.2%	0.0%	0.2%	1.4%	0.2%	97
	←	2.4%	4.5%	0.9%	0.9%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	41
	←	0.7%	2.6%	4.5%	1.4%	0.2%	0.2%	0.0%	0.5%	43
	どちらともいえない	2.8%	2.6%	7.8%	17.9%	1.9%	0.0%	0.0%	4.9%	161
	→	0.0%	0.7%	3.3%	7.3%	2.1%	0.2%	0.0%	0.0%	58
	→	0.2%	0.2%	0.2%	3.8%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	21
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4
合計		102	55	73	138	21	6	6	24	425

I) 3回目の緊急事態宣言

		適切性_持続化給付金制度の導入								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	かなり度が過ぎている	わからない	
満足度 「持続化給付金制度の導入」	全く満足していない	13.4%	1.6%	0.7%	0.5%	0.0%	0.2%	0.5%	0.0%	72
	←	1.6%	1.4%	2.1%	0.2%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	26
	←	0.9%	1.9%	4.0%	1.9%	0.9%	0.5%	0.5%	0.0%	45
	どちらともいえない	3.3%	2.4%	7.8%	19.3%	2.6%	0.2%	0.2%	7.3%	183
	→	0.9%	0.7%	2.1%	7.1%	3.8%	0.0%	0.0%	0.5%	64
	→	0.0%	0.7%	0.5%	3.5%	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	25
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.2%	1.6%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	10
合計		86	37	74	145	37	7	6	33	425

J) 持続化給付金制度の導入(中小法人・個人事業主支援)

図-2 政府の COVID-19 政策への満足度と適切性評価のクロス集計 結果(その 1)

		適切性_特別定額給付金10万円の配布								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	度が過ぎている	わからない	
満足度 10万円 特別定額給付金	全く満足していない	11.8%	1.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%	59	
	←	0.9%	1.2%	0.9%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	17	
	←	0.7%	1.4%	1.9%	1.6%	0.5%	0.5%	0.0%	28	
	どちらともいえない	2.1%	2.1%	4.5%	15.5%	4.0%	1.2%	0.0%	149	
	→	1.2%	0.7%	2.8%	11.5%	5.2%	0.0%	0.5%	93	
	→	0.2%	0.2%	1.4%	6.8%	1.4%	0.7%	0.0%	47	
	非常に満足している	0.5%	0.0%	0.0%	4.9%	0.7%	0.7%	0.5%	32	
合計		74	29	50	174	50	15	4	29	425

K) 特別定額給付金(1人10万円)の配布

		適切性_接触確認アプリ(COCoA)の導入								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	度が過ぎている	わからない	
満足度 COCoA	全く満足していない	23.3%	2.1%	0.7%	0.5%	0.0%	0.9%	0.7%	0.5%	122
	←	3.5%	5.4%	3.5%	1.2%	0.0%	0.5%	0.7%	0.9%	67
	←	0.9%	3.3%	2.6%	2.4%	0.9%	0.5%	0.0%	0.5%	47
	どちらともいえない	2.6%	1.6%	5.9%	15.3%	3.1%	0.2%	0.2%	6.1%	149
	→	0.0%	1.2%	1.6%	4.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	35
	→	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
合計		129	58	61	103	24	9	7	34	425

L) 接触確認アプリ(COCoA)の導入

		適切性_GoTo イベント事業								合計
		かなり手ぬるい	←	←	適切である	→	→	度が過ぎている	わからない	
満足度 GoTo イベント	全く満足していない	23.5%	1.9%	0.9%	0.2%	0.5%	0.2%	4.2%	1.6%	141
	←	2.8%	5.2%	0.9%	0.7%	0.0%	0.5%	0.7%	0.5%	48
	←	0.9%	1.4%	3.3%	2.4%	1.2%	0.7%	0.2%	0.2%	44
	どちらともいえない	2.1%	1.4%	4.9%	13.9%	4.7%	0.0%	0.2%	4.7%	136
	→	0.0%	0.5%	2.6%	3.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.5%	39
	→	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.7%	0.2%	0.0%	0.2%	10
	非常に満足している	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	7
合計		125	44	54	99	38	9	23	33	425

M) GoTo イベント事業

図-3 政府の COVID-19 政策への満足度と適切性評価のクロス集計 結果(その2)

れていたにも関わらず、春節(中国のお正月)のインバウンド需要を見込んでか、入国規制の発動が遅れ、外国人観光客が多数訪れる札幌雪祭りで感染が拡大したことは記憶に新しい。一方で、2021年9月時点での日本の入国規制は他国と比して非常にきびしいものとなっている。入国時には、検査陰性証明書やワクチン接種記録など日本独自の規定によるさまざまな書類が必要で、空港で厳格な審査が課されているほか、入国後は2週間の健康観察・隔離期間があり、公共交通は使用できない。隔離期間は1日に数回担当機関からの連絡があり、ビデオ通話による確認が義務づけられている。日本国民は、政府の入国規制としてこのような厳格な対応が取られていることを知らずに、初動期の不手際をよく覚えているようである。

また、F)全世帯を対象の2枚ずつのマスク配布(いわゆるアベノマスク)(28.5%)も不満足で手ぬるいと評価されている。マスクが品薄となり高額転売が問題となったのは2020年3-4月頃であり、人々が実際にアベノマスクを手にしたのは5-6月であったため、時宜を逸したとの評価であると考えられる。一方でアベノマスクに対しては不満足で度が過ぎているという評価も多く(8.9%)、適切であったとの評価が最も少ない。

M)GoToイベント事業も不満足で手ぬるいと評価(23.5%)されている一方、不満足で度が過ぎている言う評価(4.2%)もある。パンデミックで大打撃を受けた観光業や飲食業を支援しようという趣旨はシンプルであるが、感染ピークの第2波、第3波につながったとの批判もなされた。筆者自身は出張旅行が対

象外であったことと、申請方法がわからなかったことから利用しなかったが、周囲の学生の多くがこの事業を利用して楽しんでいたことが印象的である。

「不満で手ぬるい」が少なく「適切である」との評価が比較的高いのは、D)政府による学校の一斉休校の要請、J)持続化給付金制度、K)特別定額給付金であった。J)とK)はいわゆるアメの政策で、これに不満で手ぬるいとの評価は「もっとアメが欲しい、必要である」ということであろう。J)は中小法人・個人事業主に限定されていたが、K)は国民に一律に10万円配布されており、困窮度を考慮しないばらまきであったと批判する報道もあった。困窮度を評価するには手間と時間がかかるため、迅速性を優先した措置であったことは一定程度理解できるが、このK)を「度が過ぎている」と評価したのはわずか4名、0.001%と少数派であった。

## (2) 適切性の評価の規定因

次に、表-3の13政策から比較的评价が分かれている5つを選定し、どのような個人属性、心理的傾向を有する人がどのような評価を行っているのかを把握することを試みた。選定した5つは、以下の通りである。

- B) 在宅勤務およびテレワークの推進
- C) 大型イベント開催中止・延期の呼びかけ
- D) 学校の一斉休校の要請
- J) 持続化給付金制度の導入
- M) GoTo イベント事業

まず、適切性の評価を「手ぬるい」「適切」「度が過ぎている」の三つのカテゴリに分類し、それぞれ

のカテゴリに該当する人を1, それ以外を0とするダミー変数を作成し, 従属変数とした. 具体的には, 左端(=1)が手ぬるい, 中央(=4)が適切, 右端(=7)が度が過ぎている, という7件法の回答を, 1-2を手ぬるい, 3-5を適切, 6-7を度が過ぎている, と分類した. 「わからない」との回答は, 本研究においては分析対象としなかったが, 政策への評価ができない, 難しい層についての調査分析も必要かもしれない, 今後の課題である.

独立変数としては, 2章に述べた個人属性と心理指標を設定し, 3カテゴリ×5政策の15通りの重回帰分析(強制投入法)を行った結果を表-4~表-8に示す. なお,  $\beta$ は標準化係数,  $t$ は $t$ 値,  $p$ は有意確率,  $R^2$ は決定係数, \*は $p<.10$ , \*\*は $p<.05$ , \*\*\*は $p<.01$ を意味している.

表-4より, B)在宅勤務およびテレワークの推進については, 小学生が同居していない, 政府機関を信頼していない人ほど「手ぬるい」, 政府機関を信頼している人は「適切」, COVID-19を恐ろしいと思わない, 東京都以外に居住, 飲食業に従事, 配達宅配業に従事している人ほど「度が過ぎている」と評価していることが示された. 東京以外ではテレワークが困難な職業の従事者が多いこと, 飲食業や配達宅配業でテレワークが困難であることから政府によるテレワーク推進が「度を過ぎている」と評価されたものと考えられる.

表-5より, C)大型イベント開催中止・延期の呼びかけについては, 政府機関・市町村・近所の人を信頼していないほど「手ぬるい」, COVID-19を知っている, 政府機関を信頼している, 東京都以外に居住している人ほど「適切」と評価していた. また, 高校生と同居, COVID-19は恐ろしくない, COVID-19をよく知っている, 都道府県庁・TVキャスターを信頼せず市町村と近所の人を信頼し, 飲食業に従事している人ほど「度が過ぎている」と評価していることが示された. 飲食業従事者がC)の政策を「度が過ぎている」と評価する理由としては, 大型イベントに付随する飲食業の活況を妨げると認識したためかもしれない.

表-6より, D)学校の一斉休校の要請については, 市町村を信頼していない人ほど「手ぬるい」, 世帯年収が低く, 政府機関・TVキャスター・親戚を信頼している人ほど「適切」, 世帯年収が高く, COVID-19は恐ろしくない, 都道府県庁とTVキャスターを信頼せず市町村を信頼している人ほど「度が過ぎている」と評価していた. 世帯年収が低いほど「適切」, 高いほど「度が過ぎている」と評価している理由は定かでは無く, 今後の課題としたい. TVキャスターを信頼していると「適切」, 信頼していないと「度が過ぎている」と評価されている要因として, TVキャスターの番組内の言動が影響している可能性が考えられるが, どのキャスターのどの番組のどの発言に起因するかは不明であり, 本研究の限界である.

表-7より, J)持続化給付金制度の導入については, 高校生と同居していない, 高齢者と同居している, 政府機関を信頼していない, ワクチン接種しようと思う人ほど「手ぬるい」, 高校生と同居し, 高齢者と同居せず, 世帯年収が低く, 政府機関・市町村を信頼している人ほど「適切」, COVID-19を知っている, ワクチン接種しようと思わない, この状態に不安を抱いておらず, 観光業に従事している人ほど「度が過ぎている」と評価していることが示された. この状況に不安を抱いていない人は「ばらまき」に「度が過ぎている」と考えている可能性があり, このような「アメ」の施策を「ラッキー!」と喜ぶか, 「そんな税金の無駄を. . .」と嘆くのか, 個々人の認知的複雑性, 利他性なども組み合わせた調査研究が必要と考える. 観光業従事者が「度が過ぎている」と評価した理由は定かでは無いが, 最も打撃を受けたであろう観光業者からすると, 他業種への支援をし過ぎでは無いかと評価された可能性が考えられる.

表-8より, M)GoTo イベント事業については, 男性, 若者, 中学生と同居, 政府機関と市町村を信頼せず都道府県を信頼し, 東京・神奈川・埼玉・千葉に居住, 公共交通事業に従事している人ほど「手ぬるい」, 中学生と同居せず, 政府機関と市町村を信頼し都道府県を信頼していない人ほど「適切」, 女性で年配, 北関東に居住している人ほど「度が過ぎている」と評価していた. 東京周辺ではGoToイベントの対象地から外されていた期間が長かったため, 「度が過ぎている」と評価されたものと考えられる. また, 男性・若年層がもっと進めて欲しいという意味で「手ぬるい」, 女性・年配層が「度が過ぎている」と冷ややかな評価をしている点は, 筆者の感覚とも合致している.

5つの政策への評価を俯瞰すると, 人/関係機関への信頼は, 政策への評価に影響する度合いが高いと言える. B) C) J) M)は政府への信頼が高いほど「適切」, 低いほど「手ぬるい」と評価される一方, C)は都道府県への信頼が低いと「度が過ぎている」, C)とD)は市町村を信頼しているほど「度が過ぎている」と評価されている. C)大型イベントの開催中止・延期要請は, 特に行政機関への信頼によって評価が分かれている. この理由については不明であり, 今後の課題である.

また, これらより, COVID-19関連政策が「適切で無い」との評価が, もっと積極的に進めて欲しいのか, やり過ぎだと感じているのかに分けて考える必要があることが示された. つまり, 適切-不適切の一軸のみで計るのではなく, 「不適切」の評価を「手ぬるい」「度が過ぎている」と分類しないと人々の政策への評価は適切に把握できないと言える.

#### 4. おわりに

本研究では, COVID-19パンデミック対応政策に

表-4 B)政府による在宅勤務およびテレワークの推進 への適切性評価の規定因 重回帰分析結果

従属変数	重回帰分析：強制投入法	手ぬるい				適切				度が過ぎている			
		β	t	p	R2=.247	β	t	p	R2=.210	β	t	p	R2=.148
政府による在宅勤務とテレワークの推進	(定数)		0.626	0.532			1.941	0.053 *			0.540	0.590	
	性別 (男性1, 女性2)	-0.460	-1.114	0.266		0.395	0.935	0.351		-0.131	-0.298	0.766	
	年齢	-0.221	-1.035	0.301		0.215	0.985	0.325		-0.009	-0.038	0.970	
	同居人_未就学児	0.081	1.456	0.146		-0.064	-1.116	0.265		-0.037	-0.625	0.532	
	同居人_小学生	-0.104	-1.847	0.066 *		0.090	1.558	0.120		-0.008	-0.130	0.896	
	同居人_中学生	0.055	0.959	0.338		-0.035	-0.593	0.553		-0.046	-0.764	0.445	
	同居人_高校生	0.031	0.586	0.558		0.004	0.074	0.941		-0.039	-0.690	0.491	
	同居人_65歳以上の方	0.071	1.214	0.226		-0.083	-1.378	0.169		-0.041	-0.654	0.514	
	世帯年収	0.007	0.135	0.893		-0.039	-0.715	0.475		0.024	0.429	0.668	
	リスク認知_COVID-19_恐ろしさ(恐ろしい)	0.068	1.099	0.273		-0.015	-0.244	0.808		-0.166	-2.534	0.012 **	
	リスク認知_COVID-19_未知性(よく知らない)	0.048	0.888	0.375		-0.079	-1.417	0.158		-0.063	-1.078	0.282	
	リスク認知_COVID-19_コントロール可能	-0.080	-1.427	0.155		0.030	0.514	0.607		0.032	0.540	0.590	
	人/機関への信頼_政府機関	-0.340	-3.931	0.000 ***		0.327	3.687	0.000 ***		-0.015	-0.168	0.867	
	人/機関への信頼_都道府県庁	0.146	0.955	0.340		-0.150	-0.961	0.337		-0.099	-0.609	0.543	
	人/機関への信頼_市町村	-0.219	-1.621	0.106		0.204	1.472	0.142		0.092	0.640	0.522	
	人/機関への信頼_公衆衛生専門家	0.117	1.488	0.138		-0.071	-0.876	0.382		0.004	0.044	0.965	
	人/機関への信頼_TVキャスター	-0.066	-0.922	0.357		0.108	1.479	0.140		-0.100	-1.321	0.188	
	人/機関への信頼_親戚	0.040	0.519	0.604		-0.021	-0.266	0.791		0.069	0.839	0.402	
	人/機関への信頼_近所の人	-0.098	-1.249	0.213		0.049	0.602	0.548		-0.019	-0.226	0.821	
	主観的幸福感(現在幸せですか、11段階評価)	-0.063	-1.059	0.291		-0.038	-0.626	0.531		0.071	1.124	0.262	
	ワクチン接種行動意図(接種しようと思うか)	0.087	1.464	0.144		-0.032	-0.526	0.600		-0.037	-0.593	0.554	
	主観的「自粛疲れ」(自粛疲れを感じているか)	0.058	1.027	0.305		-0.026	-0.447	0.655		0.029	0.486	0.628	
	首都圏ダミー(東京, 神奈川, 埼玉, 千葉=1)	0.965	1.189	0.235		-0.943	-1.134	0.258		0.419	0.485	0.628	
	東京都ダミー(東京=1)	0.021	0.343	0.732		-0.021	-0.341	0.733		-0.140	-2.151	0.032 **	
	Ph5_状態不安_平均(この状態に不安を抱いている)	0.031	0.308	0.758		-0.042	-0.414	0.679		-0.044	-0.410	0.682	
	Ph5_特性不安_平均(性格特性として不安がち)	-0.083	-0.871	0.384		0.062	0.630	0.529		0.074	0.734	0.464	
	Ph5_社会的不安_平均(他の人がどう思うか不安)	0.035	0.581	0.561		-0.028	-0.445	0.657		-0.064	-0.994	0.321	
	職業ダミー_飲食	0.030	0.558	0.577		-0.068	-1.263	0.208		0.154	2.730	0.007 ***	
	職業ダミー_観光	0.058	1.094	0.275		-0.037	-0.685	0.494		-0.025	-0.440	0.660	
	職業ダミー_公共交通	-0.003	-0.065	0.949		0.028	0.519	0.604		-0.016	-0.288	0.773	
	職業ダミー_配達宅配	-0.063	-1.216	0.225		0.024	0.448	0.655		0.136	2.445	0.015 **	
	職業ダミー_その他接客	-0.014	-0.275	0.783		-0.075	-1.432	0.153		-0.005	-0.084	0.933	
職業ダミー_販売	-0.017	-0.316	0.752		0.012	0.221	0.825		-0.016	-0.276	0.783		

表-5 C)政府による大型イベント開催中止・延期の呼びかけ への適切性評価の規定因 重回帰分析結果

従属変数	重回帰分析：強制投入法	手ぬるい				適切				度が過ぎている			
		β	t	p	R2=.297	β	t	p	R2=.251	β	t	p	R2=.200
政府の大型イベント中止延期要請	(定数)		0.947	0.344			1.366	0.173			0.762	0.447	
	性別 (男性1, 女性2)	-0.336	-0.844	0.399		0.191	0.465	0.642		-0.382	-0.899	0.370	
	年齢	-0.068	-0.330	0.742		0.045	0.210	0.834		-0.175	-0.795	0.427	
	同居人_未就学児	0.025	0.470	0.638		0.012	0.207	0.836		-0.052	-0.909	0.364	
	同居人_小学生	0.010	0.182	0.856		-0.027	-0.471	0.638		-0.015	-0.260	0.795	
	同居人_中学生	0.029	0.530	0.597		-0.004	-0.073	0.942		-0.077	-1.319	0.188	
	同居人_高校生	0.004	0.084	0.933		-0.027	-0.507	0.612		0.142	2.579	0.010 **	
	同居人_65歳以上の方	0.074	1.315	0.190		-0.084	-1.441	0.151		-0.011	-0.183	0.855	
	世帯年収	0.023	0.455	0.649		-0.050	-0.931	0.353		-0.002	-0.037	0.971	
	リスク認知_COVID-19_恐ろしさ(恐ろしい)	0.074	1.242	0.215		-0.015	-0.240	0.811		-0.162	-2.551	0.011 **	
	リスク認知_COVID-19_未知性(よく知らない)	0.077	1.463	0.144		-0.096	-1.762	0.079 *		-0.104	-1.846	0.066 *	
	リスク認知_COVID-19_コントロール可能	-0.041	-0.762	0.447		-0.019	-0.347	0.729		0.069	1.196	0.233	
	人/機関への信頼_政府機関	-0.412	-4.928	0.000 ***		0.339	3.921	0.000 ***		0.118	1.318	0.188	
	人/機関への信頼_都道府県庁	0.209	1.420	0.157		-0.092	-0.604	0.546		-0.402	-2.554	0.011 **	
	人/機関への信頼_市町村	-0.257	-1.967	0.050 *		0.181	1.340	0.181		0.294	2.107	0.036 **	
	人/機関への信頼_公衆衛生専門家	0.042	0.550	0.583		-0.019	-0.243	0.808		0.074	0.913	0.362	
	人/機関への信頼_TVキャスター	0.008	0.117	0.907		0.048	0.677	0.499		-0.242	-3.292	0.001 ***	
	人/機関への信頼_親戚	0.048	0.648	0.518		-0.005	-0.064	0.949		-0.016	-0.197	0.844	
	人/機関への信頼_近所の人	-0.136	-1.790	0.074 *		0.058	0.733	0.464		0.138	1.695	0.091 *	
	主観的幸福感(現在幸せですか、11段階評価)	-0.014	-0.246	0.806		-0.064	-1.081	0.280		0.039	0.638	0.524	
	ワクチン接種行動意図(接種しようと思うか)	0.064	1.114	0.266		-0.010	-0.168	0.867		-0.050	-0.827	0.409	
	主観的「自粛疲れ」(自粛疲れを感じているか)	-0.021	-0.377	0.707		0.051	0.895	0.372		0.058	0.984	0.326	
	首都圏ダミー(東京, 神奈川, 埼玉, 千葉=1)	0.429	0.548	0.584		-0.257	-0.317	0.751		0.830	0.992	0.322	
	東京都ダミー(東京=1)	0.084	1.421	0.156		-0.108	-1.769	0.078 *		-0.087	-1.382	0.168	
	Ph5_状態不安_平均(この状態に不安を抱いている)	0.111	1.155	0.249		-0.079	-0.790	0.430		-0.068	-0.660	0.510	
	Ph5_特性不安_平均(性格特性として不安がち)	-0.018	-0.200	0.842		-0.011	-0.115	0.908		0.026	0.264	0.792	
	Ph5_社会的不安_平均(他の人がどう思うか不安)	0.009	0.155	0.877		-0.006	-0.103	0.918		-0.070	-1.111	0.267	
	職業ダミー_飲食	0.011	0.217	0.828		-0.055	-1.034	0.302		0.146	2.672	0.008 ***	
	職業ダミー_観光	-0.003	-0.065	0.948		0.028	0.536	0.593		-0.046	-0.856	0.393	
	職業ダミー_公共交通	0.000	-0.003	0.998		0.025	0.472	0.638		-0.012	-0.219	0.827	
	職業ダミー_配達宅配	-0.049	-0.964	0.336		0.066	1.266	0.207		-0.045	-0.842	0.400	
	職業ダミー_その他接客	-0.036	-0.730	0.466		-0.021	-0.410	0.682		-0.005	-0.101	0.920	
職業ダミー_販売	0.018	0.344	0.731		-0.024	-0.450	0.653		-0.006	-0.114	0.910		

表-6 D)政府による学校の一斉休校の要請 への適切性評価の規定因 重回帰分析結果

従属変数	重回帰分析: 強制投入法	手ぬるい				適切				度が過ぎている			
		β	t	p	R2=.204	β	t	p	R2=.218	β	t	p	R2=.177
政府による学校の一斉休校	(定数)		0.857	0.392			1.688	0.092 *			-0.321	0.748	
	性別 (男性1, 女性2)	-0.256	-0.604	0.546		0.393	0.936	0.350		-0.487	-1.129	0.260	
	年齢	-0.090	-0.412	0.681		0.090	0.414	0.679		-0.071	-0.317	0.752	
	同居人_未就学児	0.012	0.212	0.832		-0.029	-0.509	0.611		0.047	0.796	0.426	
	同居人_小学生	0.007	0.120	0.905		-0.027	-0.470	0.639		0.073	1.240	0.216	
	同居人_中学生	-0.003	-0.047	0.962		0.042	0.723	0.470		-0.043	-0.726	0.468	
	同居人_高校生	-0.008	-0.140	0.889		-0.003	-0.049	0.961		0.055	0.990	0.323	
	同居人_65歳以上の方	0.021	0.350	0.727		-0.066	-1.112	0.267		0.028	0.462	0.644	
	世帯年収	-0.009	-0.167	0.868		-0.124	-2.273	0.024 **		0.123	2.206	0.028 **	
	リスク認知_COVID-19_恐ろしさ(恐ろしい)	0.054	0.852	0.395		0.084	1.338	0.182		-0.197	-3.063	0.002 ***	
	リスク認知_COVID-19_未知性(よく知らない)	0.011	0.196	0.845		-0.083	-1.495	0.136		0.030	0.519	0.604	
	リスク認知_COVID-19_コントロール可能	-0.011	-0.196	0.845		-0.005	-0.083	0.934		0.034	0.580	0.562	
	人/機関への信頼_政府機関	-0.133	-1.497	0.135		0.170	1.922	0.055 *		-0.149	-1.649	0.100	
	人/機関への信頼_都道府県庁	0.161	1.029	0.304		-0.010	-0.061	0.951		-0.265	-1.659	0.098 *	
	人/機関への信頼_市町村	-0.342	-2.458	0.015 **		0.138	0.999	0.319		0.304	2.154	0.032 **	
	人/機関への信頼_公衆衛生専門家	-0.079	-0.971	0.332		-0.033	-0.415	0.679		0.120	1.454	0.147	
	人/機関への信頼_TVキャスター	-0.014	-0.185	0.853		0.131	1.800	0.073 *		-0.155	-2.077	0.039 **	
	人/機関への信頼_親戚	-0.069	-0.873	0.383		0.153	1.955	0.051 *		0.008	0.099	0.921	
	人/機関への信頼_近所の人	-0.078	-0.959	0.338		-0.052	-0.652	0.515		0.103	1.247	0.213	
	主観的幸福感(現在幸せですか、11段階評価)	0.015	0.244	0.808		-0.075	-1.234	0.218		0.025	0.402	0.688	
	ワクチン接種行動意図(接種しようと思うか)	0.096	1.580	0.115		0.037	0.621	0.535		-0.055	-0.886	0.376	
	主観的「自粛疲れ」(自粛疲れを感じているか)	0.017	0.287	0.774		0.070	1.217	0.224		-0.048	-0.812	0.417	
	首都圏ダミー(東京, 神奈川, 埼玉, 千葉=1)	0.438	0.525	0.600		-0.740	-0.895	0.372		0.837	0.987	0.325	
	東京都ダミー(東京=1)	-0.008	-0.133	0.895		-0.038	-0.610	0.542		-0.002	-0.029	0.977	
	Ph5_状態不安_平均(この状態に不安を抱いている)	0.002	0.020	0.984		0.027	0.267	0.789		0.049	0.466	0.642	
	Ph5_特性不安_平均(性格特性として不安がち)	0.038	0.390	0.697		-0.104	-1.067	0.287		-0.047	-0.472	0.637	
	Ph5_社会的不安_平均(他の人がどう思うか不安)	0.100	1.597	0.111		-0.091	-1.470	0.143		0.034	0.538	0.591	
	職業ダミー_飲食	-0.047	-0.873	0.383		0.035	0.653	0.514		0.030	0.549	0.583	
	職業ダミー_観光	0.080	1.476	0.141		-0.088	-1.649	0.100		0.048	0.868	0.386	
	職業ダミー_公共交通	-0.011	-0.209	0.835		0.027	0.507	0.613		0.013	0.233	0.816	
	職業ダミー_配達宅配	-0.049	-0.912	0.363		0.022	0.410	0.682		0.051	0.933	0.352	
	職業ダミー_その他接客	0.013	0.251	0.802		-0.073	-1.396	0.164		-0.042	-0.778	0.437	
職業ダミー_販売	0.021	0.384	0.701		0.024	0.453	0.651		-0.085	-1.537	0.125		

表-7 J)持続化給付金制度の導入 への適切性評価の規定因 重回帰分析結果

従属変数	重回帰分析: 強制投入法	手ぬるい				適切				度が過ぎている			
		β	t	p	R2=.279	β	t	p	R2=.243	β	t	p	R2=.131
持続化給付金	(定数)		1.532	0.127			0.554	0.580			0.414	0.679	
	性別 (男性1, 女性2)	-0.135	-0.335	0.738		0.390	0.944	0.346		-0.655	-1.477	0.141	
	年齢	-0.032	-0.155	0.877		0.151	0.706	0.481		-0.264	-1.153	0.250	
	同居人_未就学児	0.012	0.217	0.829		0.034	0.613	0.540		-0.062	-1.029	0.304	
	同居人_小学生	-0.011	-0.191	0.849		0.070	1.238	0.217		-0.068	-1.120	0.264	
	同居人_中学生	0.081	1.445	0.150		-0.088	-1.541	0.124		-0.022	-0.352	0.725	
	同居人_高校生	-0.097	-1.850	0.065 *		0.091	1.694	0.091 *		-0.029	-0.504	0.615	
	同居人_65歳以上の方	0.104	1.815	0.071 *		-0.100	-1.704	0.089 *		-0.005	-0.072	0.943	
	世帯年収	0.036	0.691	0.490		-0.091	-1.707	0.089 *		0.009	0.152	0.879	
	リスク認知_COVID-19_恐ろしさ(恐ろしい)	-0.057	-0.945	0.345		0.046	0.746	0.456		0.001	0.012	0.990	
	リスク認知_COVID-19_未知性(よく知らない)	0.029	0.547	0.585		0.036	0.658	0.511		-0.141	-2.409	0.017 **	
	リスク認知_COVID-19_コントロール可能	-0.023	-0.424	0.672		-0.013	-0.224	0.823		0.009	0.156	0.876	
	人/機関への信頼_政府機関	-0.255	-3.006	0.003 ***		0.191	2.201	0.028 **		-0.122	-1.306	0.192	
	人/機関への信頼_都道府県庁	0.007	0.045	0.964		0.009	0.057	0.955		0.121	0.739	0.460	
	人/機関への信頼_市町村	-0.214	-1.618	0.107		0.259	1.914	0.057 *		-0.003	-0.021	0.983	
	人/機関への信頼_公衆衛生専門家	-0.060	-0.783	0.434		0.008	0.103	0.918		0.124	1.460	0.145	
	人/機関への信頼_TVキャスター	0.025	0.365	0.716		-0.008	-0.108	0.914		-0.063	-0.821	0.412	
	人/機関への信頼_親戚	0.019	0.251	0.802		0.026	0.333	0.739		-0.108	-1.303	0.193	
	人/機関への信頼_近所の人	-0.107	-1.391	0.165		0.040	0.504	0.614		0.103	1.216	0.225	
	主観的幸福感(現在幸せですか、11段階評価)	0.018	0.301	0.764		-0.034	-0.563	0.574		0.017	0.271	0.786	
	ワクチン接種行動意図(接種しようと思うか)	0.130	2.241	0.026 **		-0.009	-0.150	0.881		-0.208	-3.270	0.001 ***	
	主観的「自粛疲れ」(自粛疲れを感じているか)	0.072	1.295	0.196		-0.007	-0.122	0.903		0.046	0.759	0.448	
	首都圏ダミー(東京, 神奈川, 埼玉, 千葉=1)	0.153	0.193	0.847		-0.703	-0.864	0.388		1.300	1.491	0.137	
	東京都ダミー(東京=1)	0.050	0.828	0.409		-0.080	-1.304	0.193		-0.009	-0.141	0.888	
	Ph5_状態不安_平均(この状態に不安を抱いている)	0.063	0.649	0.517		0.017	0.172	0.864		-0.216	-2.009	0.045 **	
	Ph5_特性不安_平均(性格特性として不安がち)	-0.032	-0.343	0.732		-0.016	-0.165	0.869		0.117	1.148	0.252	
	Ph5_社会的不安_平均(他の人がどう思うか不安)	0.048	0.811	0.418		0.022	0.366	0.715		-0.085	-1.300	0.195	
	職業ダミー_飲食	-0.016	-0.313	0.754		0.036	0.686	0.493		-0.030	-0.531	0.595	
	職業ダミー_観光	0.006	0.110	0.912		-0.042	-0.790	0.430		0.128	2.266	0.024 **	
	職業ダミー_公共交通	0.057	1.112	0.267		-0.040	-0.750	0.454		0.001	0.016	0.987	
	職業ダミー_配達宅配	0.057	1.110	0.268		-0.025	-0.471	0.638		-0.046	-0.827	0.409	
	職業ダミー_その他接客	-0.017	-0.340	0.734		-0.032	-0.629	0.530		-0.029	-0.522	0.602	
職業ダミー_販売	-0.031	-0.604	0.546		0.019	0.355	0.722		0.008	0.134	0.894		

表-8 M)GoTo イベント事業 への適切性評価の規定因 重回帰分析結果

従属変数	重回帰分析：強制投入法	手ぬるい			適切			度が過ぎている					
		β	t	p	R2=	β	t	p	R2=	β	t	p	R2=
G O T O イ ベ ン ト	(定数)		-0.685	0.494			1.343	0.180			2.378	0.018	**
	性別 (男性1, 女性2)	-1.065	-2.589	0.010	**	0.165	0.404	0.687		1.305	2.968	0.003	***
	年齢	-0.462	-2.172	0.031	**	-0.052	-0.246	0.805		0.826	3.634	0.000	***
	同居人_未就学児	-0.047	-0.847	0.397		0.086	1.559	0.120		-0.039	-0.652	0.515	
	同居人_小学生	0.085	1.511	0.132		-0.061	-1.092	0.276		0.016	0.271	0.786	
	同居人_中学生	0.095	1.674	0.095	*	-0.099	-1.746	0.082	*	-0.050	-0.815	0.415	
	同居人_高校生	0.079	1.493	0.137		-0.043	-0.804	0.422		0.001	0.009	0.993	
	同居人_65歳以上の方	0.081	1.397	0.164		-0.084	-1.445	0.149		-0.003	-0.051	0.959	
	世帯年収	-0.020	-0.382	0.703		0.006	0.109	0.914		-0.033	-0.576	0.565	
	リスク認知_COVID-19_恐ろしさ(恐ろしい)	-0.029	-0.465	0.642		0.014	0.223	0.824		-0.012	-0.186	0.853	
	リスク認知_COVID-19_未知性(よく知らない)	0.013	0.235	0.814		-0.047	-0.873	0.384		0.023	0.402	0.688	
	リスク認知_COVID-19_コントロール可能	-0.030	-0.531	0.596		0.022	0.402	0.688		0.014	0.241	0.810	
	人/機関への信頼_政府機関	-0.399	-4.614	0.000	***	0.354	4.125	0.000	***	0.018	0.195	0.845	
	人/機関への信頼_都道府県庁	0.494	3.245	0.001	***	-0.408	-2.701	0.007	***	-0.197	-1.210	0.227	
	人/機関への信頼_市町村	-0.417	-3.090	0.002	***	0.429	3.203	0.002	***	0.022	0.155	0.877	
	人/機関への信頼_公衆衛生専門家	0.012	0.153	0.879		-0.029	-0.372	0.710		0.117	1.387	0.166	
	人/機関への信頼_TVキャスター	0.007	0.102	0.919		0.007	0.095	0.924		-0.006	-0.085	0.932	
	人/機関への信頼_親戚	0.070	0.913	0.362		-0.080	-1.046	0.296		0.053	0.642	0.521	
	人/機関への信頼_近所の人	-0.127	-1.621	0.106		0.103	1.314	0.190		0.014	0.165	0.869	
	主観的幸福感(現在幸せですか、11段階評価)	0.016	0.263	0.793		-0.053	-0.900	0.369		-0.024	-0.381	0.704	
	ワクチン接種行動意図(接種しようと思うか)	0.094	1.593	0.112		-0.005	-0.092	0.926		-0.043	-0.689	0.492	
	主観的「自粛疲れ」(自粛疲れを感じているか)	0.007	0.130	0.897		0.030	0.542	0.588		0.024	0.393	0.694	
	首都圏ダミー(東京、神奈川、埼玉、千葉=1)	2.125	2.626	0.009	***	-0.463	-0.575	0.566		-2.518	-2.909	0.004	***
	東京都ダミー(東京=1)	-0.013	-0.208	0.835		-0.009	-0.150	0.880		0.006	0.090	0.928	
	Ph5_状態不安_平均(この状態に不安を抱いている)	0.086	0.864	0.388		-0.064	-0.646	0.519		-0.161	-1.513	0.131	
	Ph5_特性不安_平均(性格特性として不安がち)	-0.030	-0.313	0.755		0.002	0.020	0.984		0.091	0.893	0.372	
	Ph5_社会的不安_平均(他の人がどう思うか不安)	0.040	0.654	0.514		0.066	1.099	0.272		-0.104	-1.596	0.111	
	職業ダミー_飲食	0.076	1.433	0.153		-0.065	-1.242	0.215		0.004	0.067	0.947	
	職業ダミー_観光	0.011	0.211	0.833		-0.041	-0.788	0.431		0.074	1.327	0.186	
	職業ダミー_公共交通	0.095	1.802	0.073	*	-0.053	-1.008	0.314		-0.051	-0.898	0.370	
	職業ダミー_配達宅配	-0.033	-0.640	0.522		0.055	1.069	0.286		-0.024	-0.429	0.668	
	職業ダミー_その他接客	-0.032	-0.620	0.535		0.004	0.088	0.930		-0.043	-0.788	0.431	
	職業ダミー_販売	-0.024	-0.463	0.643		0.046	0.878	0.381		-0.053	-0.944	0.346	

対する首都圏市民の評価とその要因を分析した。

その結果、各政策に対する人々の評価は、不満で手ぬるいとの評価と、満足度はどちらでもなく適切であるとの評価とに大きく二分されることが示された。初動の失敗とされる入国規制や、アメとムチの「アメ」であるにも関わらず、政策決定から実際に人々の手に渡るまでに時間を要し時宜を逸したアベノマスクなどにきびしい評価が下された。一方で「アメ」の最たるもの、ばらまきとも分類される特別定額給付金は適切であると評価されており、度が過ぎているとの評価はごくわずかであった。

また、COVID-19関連政策の評価は、適切-不適切の一軸のみで計るのではなく、「不適切」の評価を「手ぬるい」「度が過ぎている」と分ける必要があることを改めて確認した。

本研究では、政府によるCOVID-19政策の科学的な感染症対策・社会経済対策としての有効性を評価したものではなく、人々の評価を定量的に示したに過ぎない。人々はアメとムチの「ムチ」の政策にはその必要性を理解していたとしても冷ややかに反応する一方、「アメ」の政策であっても時宜を逸している場合などにはきびしい評価を下す。今後は客観的な政策の有効性と人々の評価の乖離についても検討していきたい。

謝辞：本研究の政策評価の「手ぬるい」「適切」

「度が過ぎている」との設定は、東京大学高見淳史先生、Giancarlo Parady先生との議論に着想を得たものである。また、本研究の一部は、筑波大学「新型コロナウイルス緊急対策のための大学『知』活用支援プログラム」の助成金によるものである。ここに記して深謝を示す。

参考文献

- 1) Johns Hopkins University : COVID-19 Dashboard, <https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/dashboards/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6>.
- 2)石橋拓海, 谷口綾子: 政府による COVID-19 対策への新聞報道と首都圏市民の満足度, 実践政策学(Policy and Practice Studies), 第7巻, 第1号, pp.49-61, 2021.
- 3)石橋拓海, 谷口綾子, Giancarlo Parady, 高見淳史: COVID-19による首都圏市民の行動変容と心理状態の時系列変化-2020年4月~2021年7月の5時点調査より-第64回土木計画学研究・講演集(CD-ROM), 2021.
- 4)Parady, T. G., Taniguchi, A., Takami, K. (2020) Travel behavior changes during to the COVID-19 pandemic in Japan: Analyzing the effects of risk perception and social influence on going-out self-restriction, Transportation Research Interdisciplinary Perspectives, Volume 7, September 2020, 100181. DOI: <https://doi.org/10.1016/j.trip.2020.100181>

(Received July ??, 2021)  
(Accepted November ??, 2021)

## EVALUATION OF THE GOVERNMENT'S COVID-19 ACTION BY PEOPLE LIVING IN THE TOKYO METROPOLITAN AREA

Ayako TANIGUCHI, Takumi ISHIBASHI

Various governmental measures have been taken to combat COVID-19 infection. In this study, we selected the following measures as representative measures up to July 2021: immigration restrictions, simultaneous closure of schools, declaration of a national emergency, distribution of two masks per household, sustaining benefit, special flat-rate benefit, contact confirmation application, and GOTO project. The results show that people's evaluations of each policy are based on two indices: "satisfaction" and "appropriateness" (lax, appropriate, and too much). The results show that people's evaluations of each policy are divided into two major categories: unsatisfactory and lukewarm, and neither satisfactory nor appropriate. The initial failure of the immigration restrictions and the Abenomask, which was a "candy" policy but took a long time to be implemented and was not implemented in a timely manner, were harshly evaluated. On the other hand, the most important "candy", the special flat-rate benefits, which are also classified as "disbursement", were regarded as appropriate, and only a few people regarded them as excessive.